

求人ポスター 生徒が制作

茂原北陵高 地元企業を紹介

キャリア教育の一環で高校生が企業の求人ポスターを作る取り組みが、茂原市の茂原北陵高(永野卓校長)で行われている。就職する側の生徒が、求人企業を紹介

就職応援本「COURS

E」を発行するさくら印刷(同市)が企画した。地元企業への就職を支援するとともに、生徒に地域経済の現状や働くことへの理解を深めてもらう狙い。

同校で開かれた企業説明会には民間企業9社と茂原市役所が参加した。建設、製造、流通、社会福祉施設など業種は多彩で、人事担当者がそれぞれ会社の概要や仕事内容、意義などを1社10分で説明。仕事だけでなく、働く人たちの入社した感想、やりがい、サークル活動も紹介した。

2年生は進学希望が多いが、仕事現場の生の話に興味津々。熱心に耳を傾け、企業によってさまざまな違いがあることを実感していた。

9月には生徒が希望する企業に出向き、職場を見学体験する。10月にポスターを制作し、最後に各企業の

魅力をプレゼンする。生徒がデザインするポスターは、さくら印刷が仕上げ、校内や市役所などへ掲示する。

さくら印刷の鎌田貴雅さんは、企業の担当者に「高校生の考え方、価値観を肌で感じてほしい」と呼び掛け、永野校長は2年生に「社会とのつながりを知る貴重な機会。前向きに取り組んで」と訴えた。

鎌田さんは「初めての試みで試行錯誤しているが、希望を持って地元企業に就職する土台をつくりたい。

生徒と企業がつながりを持つことで、人手不足を解消し、活性化につなげたい」と意欲を見せた。



生徒に仕事の魅力を話す企業担当者＝茂原北陵高